

Q
トレーラーハウスや
ムービングハウスなどに
関する防災協定の締結に
ついては

A
どこまでできるか
研究していきたい

問 犯罪被害者等支援総合窓口の支援体制については。また、条例制定への取り組みは。

危機管理監 福祉担当課と群馬県の支援センターと連携して体制を整えている。

市長 条例の必要性については、群馬県内の動向を注視しながら研究を行う。令

和6年度末までに策定する第4期みどり市地域福祉計画に、犯罪などにより被害を受けた方およびその家族が平穏な生活を営むことができるよう策定していきたい。

問 再生可能エネルギーの地産地消について、環境省は自家消費型太陽光発電設

備の導入を初期投資ゼロで行う方法としてオンサイトP P Aを推奨しているが、みどり市の見解は。

市民部長 市有施設で導入を検討した。オンサイトP P Aとは、太陽光発電設備を電気使用者の敷地内に発電事業者の費用により設置し、維持管理を行いながら

公明クラブ 高草木 良江

発電電力を電気使用者が購入する手法で、この地産地消の自家消費モデルを市が率先して導入し、モデルケースとして市内事業者への普及促進をしていきたい。

問 災害時の避難拠点対策として、トレーラーハウスやムービングハウスなどに関する防災協定の締結については、すでに群馬県内8自治体が協定を結んでいるが。

危機管理監 他自治体では協定の締結が進んでおり、本市もどこまでできるか研究していきたい。

問 屋根のソーラーパネルで電力を賄えるトレーラートイレを群馬県は導入するが。

市長 群馬避難総合対策チームに5つの専門チームが組織され、本市はトイレチームに参画しているため、先進地のトレーラートイレの有効性もしっかりと研究を重ねて、避難所生活の質の向上に努めていきたい。

問 高崎市などが導入したバッテリー式の組み立てトランク型自動ラップ式トイレの導入は、緊急防災・減災事業債を利用できると考えるが。

危機管理監 備蓄品として簡易トイレなどの準備はしているが、ラップ式トイレは排泄物の臭いや細菌を密閉できる機能があると理解している。備蓄品として会議で検討していきたい。



レの導入は、緊急防災・減災事業債を利用できると考えるが。

危機管理監 備蓄品として簡易トイレなどの準備はしているが、ラップ式トイレは排泄物の臭いや細菌を密閉できる機能があると理解している。備蓄品として会議で検討していきたい。

Q みどり市の相談支援体制は

A 日常生活自立支援事業を 実施する

問 1人の教員が特定教科を受け持ち、複数の学級で教える教科担任制は、令和4年度から小学校高学年で本格的な導入が始まるが、これまでの取り組み状況は。

教育部長 平成26年度から他市に先駆けて理科、音楽、英語を中心に教科担任

制を推進し、教員の専門性を生かした授業改善と各教科の指導を充実してきた。

問 令和4年度から体育も教科担任制の対象に追加されたが、これまでの取り組み状況は。

教育部長 令和3年度は笠懸小学校、大間々東小学校、あずま小中一貫教育校

の体育で教科担任制が実施されている。これまで英語における免許所持教員の配置を優先してきたが、今後とも体育免許を所持する教員の配置を推進していきたい。

問 教科担任制の取り組みにおける学校の働き方改革、時間外勤務の縮小など

新令クラブ **椎名 祐司**

の効果については。

教育長 これまでも群馬県からの教員の加配により、教科担任制が推進でき、また教員の空き時間が確保され、教材研究や授業準備が充実し、質の高い授業の提供につながっている。働きやすい環境を整備することで、やりがいや満足感を感じながら業務に当たることができると考える。

問 障がいのある人を支援している親や介助者は、自分が亡くなった後、誰が子の生活を支えてくれるのかという不安を抱えている。社会的な課題であるが、みどり市の相談支援体制は。

保健福祉部長 令和4年度からは日常生活自立支援事業を実施する予定である。

問 大間々町高津戸の市道大間々7030号線道路整備事業と阿弥陀堂周辺の環境整備は。

都市建設部長 本路線の道路整備区間は約176m。現在の3・5mから5mの幅員を側溝の新設を含めて6mの幅員として整備する。本区間は、車両同士

すれ違いにも支障があるため、拡幅後、区画線などの路面標示により、車道と路肩の区分を明確にして、歩行者の安全を確保したい。今後の設計の中で、道路上の支障物件については対応していきたい。新たに整備された段階でカーブミラーや防犯灯の設置について、関係部局と協議していく。



Q
障がい者と健常者の
分け隔てない参加については

A
健常者も障がい者も交流
しながら楽しめる大会の
開催に向けて取り組む

問 ボッチャ競技の普及状況については。
教育部長 ホストタウン事業は、コロナ禍のためにその多くを実施できなかつた。令和3年4月にみどり市ユニバーサルボッチャ協会が設立され、群馬県障害者スポーツ協会主催の審判養成講習会を行った。ま

た、市民にボッチャ競技を知ってもらうため、ルール説明とゲーム体験をセットにした出前講座などを実施。令和2年度にはボッチャ楽校を笠懸公民館と多世代交流館で延べ12回開催し、250人の参加があった。ボッチャ道具の貸出も当初の10セットから31セッ

トに増やした。
問 障がい者と健常者の分け隔てない参加については。
教育部長 ボッチャは、年齢差や障がいの有無に関わらず、すべての人が一緒に競い合い、楽しめるスポーツと認識している。今後は、健常者も障がい者も交流し

新政クラブ 上岡 克己

ながら楽しめる大会の開催に向けて取り組んでいきたい。

問 福祉関係団体の加入の促進状況については。

教育部長 市内の障害者支援施設や福祉作業所、養護老人ホームへのボッチャセットの貸出を行っている。まだ利用のない福祉関係団体に対しては、出前講座の案内などを改めて行い、福祉サービスの一環として取り組んでもらえるような働きかけをしていく。

問 全国大会誘致への働きかけについては。
市長 令和11年に群馬県での実施が計画されている、第28回全国障害者スポーツ大会におけるボッチャ競技の会場をみどり市に誘致したいと考えている。

問 大間々町内にはグラウンドゴルフの専用コースがなく、既存の公園ではかのスポーツ団体と融通しあってプレイしているが、専用コースの早期完成については。
市長 ながめ南多目的運動公園の整備は、地域のグラ

ウンドゴルフ競技者からの要望を受け、グラウンドゴルフ場の整備に向けた調整を行ってきたが、協議を重ねた結果、現在の利用形態になったと認識している。
問 公園の利用時間が制限され、グラウンドゴルフ競技者が利用しにくいとの意見については。
市長 改めて担当部署に近隣住民の方々がどのように考えているか聞き取るとともに、公園利用者の意見も伺い、公園の有効活用に向けて検討するよう指示をした。



Q 大間々東中学校生徒の 自転車通学を認めるべきでは

A 再度具体的に検討していく

問 保護者からは児童生徒の健康面についての心配、児童生徒からは通学かばんの破損や頭痛などの訴えが聞かれる。児童生徒の荷物の現状は。

教育部長 その日に実施する教科書、ノート、学習ドリル、筆記用具、タブレットなどがある。中学生で

は、部活動用具が加わる。また、週末には給食着や上履き、学期末には絵の具、書道、楽器などが加わる。

問 児童生徒から荷物の重さで肩が痛いと言われた保護者が、実際の重さを量ると約7kgだったとのことだが。

教育部長 荷物が重いと感

じる場合、7kg程度になることは学校から聞き取っている。特に低学年の児童には負担になっているため、検討が必要。

問 荷物の重さが原因で自転車事故は起きていないか。

教育部長 事故報告はないが、荷物の重さが原因の自

新政クラブ 高草木 弘子

転車通学への不安は聞かれる。

問 タブレットの有効活用としてデジタル教科書の普及を期待するが、考えは。

教育部長 文部科学省では令和6年度の本格的な導入を目指し、実証事業から結論が出される。児童生徒の負担軽減に努める。

問 荷物が重いという声をどう受け止めるのか。

教育部長 負担はかなりあるので、教育委員会は、児童生徒の携行品の対応を至急再検討する。

問 いつまでに重すぎる荷物の負担を軽くすることが出来るか。

教育部長 令和3年度内には校長会を開き、対応策を考え、年度末から令和4年度当初には実施したい。

問 市内中学校の自転車通学者数、自転車を認めている学校は。

教育部長 全生徒1416人中約75・1%の1063人。笠懸中学校、笠懸南中学校、大間々中学校で自転車通学を行っている。

問 長距離を歩き大間々東



中学校へ通う生徒もおり、保護者からは自転車通学を認めてほしいとの声を聞く。大間々東中学校生徒の自転車通学を認めるべきでは。

教育部長 保護者から自転車通学の要望が出ていることは確認している。重い荷物の件もあるため、保護者や学校評議員、地域の方の意見も踏まえ、再度具体的に検討していく。

問 児童生徒に安全運転について教育していくことが、本市を安心安全なまちにすることにつながると考えるが。

教育部長 計画的に取り組む学校の姿勢に関わっていく。

かわり、
宅地造成工事も市民に
寄り添った対応を

児童虐待は社会全体で解決していくべき問題です。

児童虐待とは
身体的虐待
精神的虐待
性的虐待
ネグレクト

子どもとの関わり
02 「言うことを聞かない」といふ理由
05 注意の方向
08 保護者自身
06 長・発達によ

子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか？
保護者について
・地域などと交流が少なく孤立している
・小さい子どもを家にのみ外出させていない
・子どもの養育に関して非協力的、無関心でいる
・子どものけがについて不自然な説明をする

児童虐待かも…と思ったら… ご自身が出産や子育てに悩んだら… 子育てに悩む人がいたら…

児童相談所 虐待対応ダイヤル 相談専用ダイヤル

A みどり市土地開発指導要綱を見直す必要がある

問 子どもや女性に対するDV被害や虐待の現状は。保健福祉部長 DVの相談件数は、令和2年度が21件、令和3年度が2月末現在で51件。コロナ禍に起因し急激に増加しているわけではない。相談内容は、夫やパートナーから生活費を渡してもらえないという経済的

問 なものが多い。みどり市の取り組みは。保健福祉部長 虐待を早期に見てできるよう子供たちの日常の見守りを心がけ、相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。保健福祉部長 相談が寄せられた際は、早期に現状把

問 握と安全確認を行い、状況に応じ警察や児童相談所、群馬県女性相談センターなどと連携し市民の命を守ることを最優先して、安全確保に努めている。保健福祉部長 コロナ禍に起因する児童虐待の総括的な見解は。教育長 子どもたちが安心して生活できることが優先

広和クラブ 新井 みゆき

すべきことのひとつである。教職員が虐待の早期発見、早期対応や支援ができるよう、日ごろから研修などを行っている。

問 困難を抱えている女性や子どもにすべきことは。市長 現状を把握し相談体制を整えること。また、被害を食い止め、再発しないよう専門的な関わりを実施していく。市民にとって利便性の高い福祉の総合相談窓口を設置し、複雑な問題の相談にも対応していく。

問 大間々町桐原地内の造成工事についての見解は。都市建設部長 みどり市土地開発事業指導要綱に基づいて事業が開始されている。開発目的が宅地分譲などの場合は事前協議書への隣地土地所有者の同意書の添付は不要としているが、施工の過程で周辺住民に説明不足であったことは認識している。

問 事前協議が不十分であったため周辺住民が不快な思いをしている。市民に寄り添った対応を望むが。副市長 事前協議の在り方

を含め、土地開発指導要綱を点検し見直す必要がある。今後、トラブルが発生しないよう他市の要綱も参考に改正していきたい。

問 太陽光発電事業に関して、条例や要綱などで規制をしているが、条例施行以前に設置された設備に対する考え方は。都市建設部長 過去の開発であっても、環境への影響が出ているのであれば行政指導ができる。



※ DV…ドメスティック・バイオレンスの略。家庭内暴力。

Q ドア・ツー・ドアの運行について検討しては

A 予約制乗り合いタクシーなどの検討が必要

問 交通弱者についての認識は。
総務部長 自動車中心の社会において、年少者や要介護者、一部の高齢者や障がい者など、自分で運転できず、公共交通機関などに頼らざるを得ない方と認識している。
問 運転免許証の保有状況

については。
危機管理監 各市町村の運転免許証保有者数は公表されないことから、群馬県の人口と運転免許証を取得できる16歳以上の人口、運転免許証保有者数に基づく推測で、みどり市では約3万6300人が保有していると考えられる。

問 運転免許証の返納状況と今後の見込みは。
危機管理監 平成29年12月1人、平成30年166人、令和元年183人、令和2年153人、令和3年156人、自主返納者は増加していくと考える。
問 返納者への施策は。
危機管理監 運転経歴証明

日本共産党クラブ 常見 詔子

書の手数料の補助と電話でバスまたは東町の路線バスの共通回数券1セット3000円12回乗車分を、65歳以上80歳未満の方に2セット、80歳以上の方に3セット贈呈している。

問 デマンドバスの状況は。

総務部長 利用人数は令和元年度2万3234人、令和2年度は令和2年3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響を受けて1万7628人で、前年度比5606人、約25%減少した。

問 デマンドバスは使い勝手が良くないというが、利用者拡大の施策は。

総務部長 平成30年度からは、誰でも3日前から予約ができるように改善し、往復バスの予約も可能とした。

問 路線バスに対する要望を聞いているか。

総務部長 令和3年2月に実施したまちづくり市民アンケートでは、交通手段に困っている市民の割合が全体で約24%、東町在住者に限定すると約38%と高い結果となっている。

問 路線バスの運行に対する要望は笠懸町や大間々町では非常に多い。午前と午後の2往復でも良いから医療機関、公共施設を中心に銀行やスパーへの買い物などに利用したいという声もある。ドア・ツー・ドアの運行について検討しては。

総務部長 デマンドバスのバス停利用状況は、病院や駅などについては変わらず多い割合と確認している。群馬県内他市でも予約制乗り合いタクシーなどの実施をしており、効率的な運行も踏まえて検討が必要と考えている。



問 中学校の通学路点検は。 **教育部長** 近接した小学校と通学路が重なる箇所については点検が可能だが、そのほかについては積極的に行き届いていない状況。確認ができていない状況。

丹羽 生徒が通う通学路を点検してほしい。 **問** 高低差がありバウンドしてしまふ箇所やスピードを出す車が多い箇所、水たまりができる箇所や白線が薄くなった箇所などさまざまな声があるが、市民、保護者からの対応実績は。 **危機管理監** 道路反射鏡、防犯灯の設置は行政区長からの要望により設置している。見通しの悪い箇所には

簡易看板を設置している。 **都市建設部長** 令和2年度に寄せられた危険箇所の相談件数については484件あり、そのうち通学路は10件。除草、舗装の傷み、路上の穴などに対応した。 **丹羽** 市民はどこに相談すればいいか、どの担当課か分かりづらい。早期の相談

問 窓口設置を。 **児童生徒へのアンケート調査は。** **教育部長** 小学校では7校中4校、中学校では5校中3校が実施している。 **丹羽** 学校の判断に任せず教育委員会には全校実施のリードを。 **問** 家庭でのごみ減量化を自主的に進めるためには、呼びかけだけでなく、家庭で挑戦すると記念品がもらえるといった他市の事例についての見解は。 **市民部長** 市民の行動変容を促す起爆剤が必要であり、渋川市では生ごみ処理器で処理した家庭に1世帯年間100枚を上限に指定ゴミ袋を無償で配布する取り組みを行っている。みどり市でもどのような取り組みが行動変容を促すか検討したい。



問 実施中の家庭教育支援事業が十分であるかどうかを検証し、検討する。 **丹羽** 家庭教育支援は地域社会の基盤であり、持続可能な社会には不可欠。他市がやっているから本市もやるのではなく、本市だからこそその制定を。

新令クラブ **丹羽 あゆみ**

Q タブレット導入後の 使用状況は

A 89件の故障や破損などの 報告があり、そのうち50件の 破損事案に修理を要した

問 タブレット導入後の使用状況は。
教育部長 教員が児童生徒の状況を見ながらきめ細かく指導している。令和3年度から使用を始めているが、これまで89件の破損などの報告があり、そのうち50件の破損事案に修理を要した。課題は、授業におけ

るタブレット端末の活用頻度や活用方法において、教員間、学校間で差がある状況。また、今後、家庭でのオンライン学習の実施に向けては、人権に配慮した実施が担保できるルールづくりなど主な課題として捉えている。
問 成果と今後の学習に期

待することは。
教育部長 今年度はICT活用推進実践校に笠懸小学校が指定され、先進校として事例を積み上げている。タブレットは道具であるという認識を持てるように取り組んできた。スキルの違いについては埋まってきたという状況を感じており、業

英行 杉山 広和クラブ

者の月2回の授業サポートやGIGAスクール支援員が役に立っている。
問 情報リテラシーについては。
教育部長 小学校は総合的な学習の時間、中学校は技術家庭科でSNSなどの危険性について研修しているが、先進自治体の事例を参考にして心配される部分を払拭していきたい。
問 渡良瀬幹線道路の進展状況は。
都市建設部長 渡良瀬幹線道路の事業進捗よくについては、笠懸藪塚工区には一部未買収地があるため、引き続き用地交渉を続けていき、令和5年度の完成を目指し事業を進めていく。新里笠懸工区は、令和4年度から事業化となり、線形などの検討を行う。路線発表は未定。桐生市相生町から吹上地内の都市計画道路もあわせて整備計画に盛り込んでいきたい。
問 産業団地のオーダーメイド方式は。
産業観光部長 企業が必要とする面積に合わせて整備



することにあり、さまざまな地域が候補地となりえる。
問 市長の考えは。
市長 渡良瀬幹線道路の整備も形として見えてきた。企業誘致推進室を課へ格上げするなど、人的な配置も検討したい。
問 電話でバスの新規運用計画は。
総務部長 循環型バスの導入やデマンドバスとの併用など、公共交通の在り方、利用者のニーズなども確認しながら、検討をする必要がある。車両の増便や運行時間の変更などの検証にも取り組んでいきたい。

※情報リテラシー…情報を十分使いこなせる能力。